



2023-24 IIHF ルール変更点

- **ルール 9. 11 - 頸部裂傷保護**
 - 「首・のど用プロテクター」の着用目的をより明確に定義するために名称変更しました。
- **ルール 21 - 危険な行為**
 - 危険な行為に対するペナルティがメジャーペナルティ+ゲームミスコンダクトペナルティのみとなり、明確になりました。



ルール 9.6 - ヘルメット

変更：

相手チームがブレイクアウェイの状況で、ゴールキーパーが意図的にヘルメットやフェイスマスクを外した場合は、ペナルティショットから変更し、ゴールが与えられます。

理由：

ゴールキーパーが相手チームのブレイクアウェイの状況を、ゴールネットを動かしてプレー止めた場合、ゴールが与えられます。しかしゴールキーパーが故意にヘルメットを脱いで、ブレイクアウェイの状況を止めた場合、ペナルティショットが与えられます。このルールを変更したことにより、ブレイクアウェイの状況を阻止する違反の対応は一貫したものになります。



ルール 19 - 同時のペナルティ

変更：

プレーヤーが 5 対 5 でプレーし、各チーム 1 人のプレーヤーがマイナーペナルティを科された場合、同時のペナルティの例外が無くなります。

理由：

各チームの 1 人のプレーヤーが同じプレー中断時にマイナーペナルティを科された場合、このペナルティは 1 つの例外を除いて試合時間に反映されません。

プレーヤーが 5 対 5 でプレーし、各チーム 1 人のプレーヤーがマイナーペナルティを科された場合、ペナルティはキャンセルアウトされず、4 対 4 でプレーしていましたが。この変更により、氷上により多くの選手が参加でき、より一貫性が高まるため、選手、コーチ、ファンにとって理解しやすいルールになります。



ルール 20.6 - メジャーペナルティのビデオレビュー

変更：

オンアイスオフィシャルによるビデオレビュー後に重大なペナルティを無効にする選択肢が追加されました。

理由：

現在、レフェリーがメジャーペナルティのビデオレビューを行う場合、メジャーペナルティを確認するか、より軽いペナルティにするに限られていました。これは、レフェリーがプレーの違反が全くなかったと結論付けた場合でも、マイナーペナルティが科せられていたため、検討する必要がありました。検討の結果、論理的ではないと思われるため、NHL のルールと同様に、ルールブックにコールを無効にする選択肢を追加しました。



ルール 21 - マッチペナルティの削除

変更：

ルールブック全体を通して、すべてのペナルティの中からマッチペナルティを削除します。マッチペナルティに該当するすべてのペナルティはメジャーペナルティ+ゲームミスコンダクトペナルティに置き換えられます。

変更の背景：

試合の中でメジャーペナルティ+ゲームミスコンダクトペナルティを科すべき場合とマッチペナルティを科すべき場合を明確に分けるための解釈の基準が不明確だったためです。

変更の結果：

この提案が承認されれば、レフェリーによる自動的なサスペンション（追加処分）が適用されるペナルティはなくなり、すべてのサスペンション（追加処分）は当該管轄機関によって決定されます。



マッチペナルティを削除すると試合とその後 の手順はどのように変わりますか？

- 実際には何も変わっていません。
- 2021 年以降、マッチペナルティに伴う自動的なサスペンション（追加処分）はなくなっています。
- 現在、マッチペナルティは、メジャーペナルティ+自動的なゲームミスコンダクトペナルティ に該当し、メジャーペナルティ+自動的な ゲームミスコンダクトペナルティはそのままになっています。
- 各リーグと各国は、メジャーペナルティの累進・追加処置に対処するための適切な方法を見つける必要があります。
- すべてのメジャーペナルティに出場停止/罰金を科すべきではありません。そのペナルティが試合の中で提供されるだけで十分かもしれません。
- ペナルティに対する追加処置に関しては、氷上をコントロールする審判の範疇ではありません。

